

# 第13回

## 下関市立市民病院漢方勉強会

### — 解表剤 漢方の風邪薬④

### 麻黄附子細辛湯、桂姜棗草黄辛附湯 —

謹啓

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、当院では、地域医療支援病院として、漢方について興味のある方々にも参加していただき、共に学べればと考え、広く案内させていただいておりますが、皆様のご支援のおかげで、昨年1月から始めたこの会も、2年目を迎えることができました。心より御礼申し上げます。

この会では、構成生薬の分析、古典の条文、適応する病態、服用法、役立つ合方など、よく処方されている漢方薬(頻用処方、ないし繁用処方)について取り上げております。

今回、第13回開催を案内させていただきます。

解表剤、言わば風邪薬を3回シリーズの予定で取り上げてきましたが、今回は追加として4回目を行います。

医師、看護師、薬剤師、検査技師、その他医療関係者で、多少とも漢方に関心がある方はご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

謹白

開催日時 : 2018年1月31日(水) 18:00~19:30

開催場所 : 下関市立市民病院 新館2階 カンファレンスルーム A

(通常の間所と異なっています)

下関市向洋町 1-13-1

講師 : 下関市立市民病院

病理診断科 安田大成 (日本東洋医学会会員)

内容 : 「解表剤 漢方の風邪薬④ 麻黄附子細辛湯、桂姜棗草黄辛附湯」

今回は、解表剤、いわゆる風邪薬の4回目です。

虚弱な人、老人の風邪になくはならない方剂であり、種々の難症に広く応用することもできる麻黄附子細辛湯、「大気一転の法」として有名で、難病の切り札的存在である桂姜棗草黄辛附湯に取り組みます。

参加費 : 無料

事前申込み : 不要

主催 下関市立市民病院

お問い合わせ先

下関市立市民病院 検査部

川元 博之

TEL 083(231)4111(内)3021



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOZEKE CITY HOSPITAL